

No.	19-1-13	場所	飯田市松尾鎌岩	次世代への継承キーワード	地形・地質理解 / 伝聞・言い伝え
名称	一部の堤防を残して浸水した飯田市松尾鎌岩地籍			河川	天竜川本川
災害現象	浸水			支流	
補足事項					

下流の狭さく部である鷺流峡の影響で水位が上昇し、浸水被害が発生。弁天橋下流 300m 地点では右岸堤防が 500m にわたって決壊、家屋流出 2 戸、床上浸水 22 戸の浸水被害となる。地域内の 75.4 ヘクタールが大量の土砂流出により平均 1.5m の埋没被害となり、堆積土砂によって農地、農業施設は壊滅的な状況となる。

●体験談：△△、▼▼とともに災害当時、同地区住民（2 人の証言を編集）

松尾清水から水神橋にかけての地域は、松尾の氾濫原を明河原と下島にわけける台地にあって秋葉街道がとおっているところです。街道ぞいに、段丘の上と下に集落が発達しています。段丘の下の民家は、ほとんどが床下から床上にかけて水がつかました。この地域には、内水と毛賀沢川から逆流してくる本流の水があふれました。さらに堤防の決壊によって一気に大水が流れてきて、秋葉街道や清水の旧国道を切り崩してしまいました。かつて、天竜川の水の勢いを受け止めて集落を守ったという釜岩は、三六災害では完全に土砂で埋まってしまいました。

（「伊那谷の自然」p.319）

記録



一部堤防を残して浸水した飯田市松尾鎌岩地籍

出典	「語り継ぐ災害の記録」p.26/「伊那谷の自然」p.319				
備考					

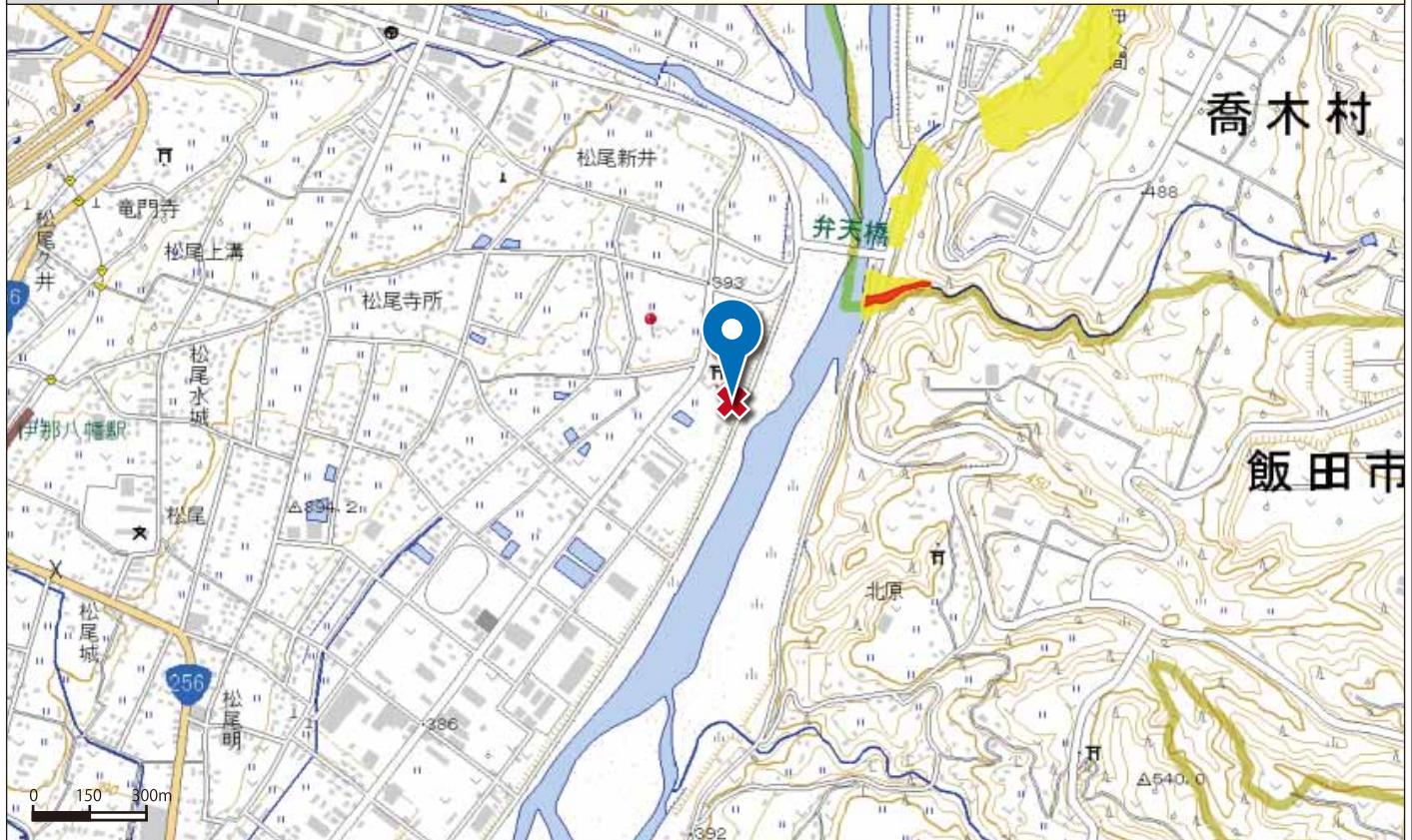
No.	19-1-13	場所	飯田市松尾鎌岩	緯度	35.497190
-----	---------	----	---------	----	-----------

名称	一部の堤防を残して浸水した飯田市松尾鎌岩地籍	経度	137.859771
----	------------------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。